



## ソウル登山観光 プガクサン(北岳山)センター

当センターではプガクサン(北岳山)に特化した情報をはじめ、プガクサン(北岳山)の登山コースなどをご案内しています。ぜひお越しください。ソウル登山観光ガイドブックや地図などもご用意しています。

所在地:ソウル市チョン(鐘路)区サムチョン口88-1階  
利用可能時間:09:00~18:00(毎週火曜日、ソルラルと秋分の当日は休み) ☎ 82-1533-2158  
※季節により利用可能時間が異なる場合がありますので、お越しになる前に必ず公式ホームページをご確認ください。

### 主なサービス

#### DPゾーンと韓屋ラウンジ

センター内に設けられたDPゾーンでお友だち、ご家族、お知り合いなどと一緒に楽しい思い出を作りましょう。また韓屋ラウンジは、山登り前の準備や山登り後の休憩にご利用いただけます。



DPゾーン



韓屋ラウンジ

#### 登山用品のレンタル

外国人の登山観光客の場合、登山靴、登山ウェア、トレッキングポール、登山リュックなどの登山装備をお得な価格でレンタルできます。事前にご予約いただく、ご希望の装備を確保することもできます。



事前予約:www.seoulhiking.or.kr

レンタル用品:登山リュック、登山靴、登山ウェア(上下)、登山グローブ、トレッキングポールなど

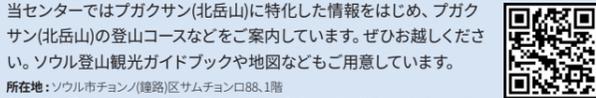
#### その他のサービス施設



ロッカー



更衣室



### TRAIL 05.

## プガクサン(北岳山)で一番古い稜線 彰義門 - マルバウイ (馬岩)コース

総移動距離 4km 総所要時間 1時間50分 難易度 中級



ベガク(白岳)マルからコクチャンを通り、マルバウイ(馬岩)まで続く稜線に沿って歩いていくと、朝鮮の士大夫がソウルで一番美しい地域だと絶賛したサムチョン洞を見下ろせる。この区間はもっとも古いプガクサン(北岳山)登山コースの1つ。七宮裏道や春秋館裏道へと下るコースが開放される前は、多くの登山客が稜線に沿って大きく回るマルバウイ(馬岩)コースを主に利用した。

移動ルート 彰義門→トルゴレ休憩所→ベガク(白岳)休憩所→ベガク(白岳)→1.21事態松→青雲台→チョンウンデ(青雲台)休憩所→コクチャン(石垣)→チョッテパウイ(燭台岩)→肅靖門→マルバウイ(馬岩)案内所→マルバウイ(馬岩)展望台→サムチョン(三清)公園入口



#### ハイキング情報

彰義門からベガク(白岳)マルまでは険しい登り坂が続く。階段沿いに設置された手すりにつかまって登るか、トレッキングポールを持参するをお勧めする。

#### 休憩情報

マルバウイ(馬岩)展望台からサムチョン(三清)公園入口までは階段が多いため、マルバウイ(馬岩)案内所や展望台で休憩した後で下山するをお勧めする。

#### アクセス

3号線キョンボクン駅3番出口を出た後、市内バス1711、7212番に乗りチャハムン(紫霞門畔)・コン・ドンジユ(尹東柱)文学館停留所で降車した後、階段を上っていくと彰義門案内所に到着する。

### TRAIL 06.

## 歴史が刻まれた現場 如来寺 - ホギョン岩 コース

総移動距離 2.48km 総所要時間 1時間30分 難易度 中級



プガクハヌル橋(ハヌルマル)を過ぎ、ホギョンアム、ナムマル、城北川発源地へと続くプガクハヌル橋の2番目のコース。通称、キム・シンジヨ(金新朝)ルートと呼ばれる。1968年1月21日、北朝鮮の武装共産ゲリラ31人がチョンワデ(青瓦台)を襲撃しようとしてきた侵入路だ。ホギョン岩には今でも数十発の弾痕が残されており、当時の激しい交戦状況を伝える。

#### ハイキング情報

ホギョン岩から城北川発源地までは険しい下り道が続く。体重を分散させるトレッキングポールを持参するといいい。

#### 休憩情報

城北川発源地の小さな池とギエゴクマルのベンチに座って休憩している。

#### アクセス

ウイ新設線チョンヌン駅1番出口を出て、ソンドク小学校停留所で市内バス1213、7211、171、163番に乗り国民大前停留所で下車した後、プガク(北岳)トンネル方面に5分程度歩くとプガク(北岳)公園管理所に到着する。ここを通り過ぎトンネル方面に100m程度進むと、如来寺に続く道がある。

移動ルート 如来寺→ハヌル橋→ハヌル展望台→ホギョン岩→ナムマル→ギエゴク(渓谷)マル→ソマル→城北川発源地→肅靖門案内所→サムチョンガク(三清閣)



### TRAIL 07.

## 隠れた生態林道に出会える場所 プガク(北岳)ハヌルギル コース

総移動距離 9km 総所要時間 2時間50分 難易度 中級



チョンワデ(青瓦台)を取り囲むプガクサン(北岳山)の稜線と山麓を繋いでいる。ドライブの名所であるプガク(北岳)スカイウェイに沿ってプガクサン(北岳山)の内側に造成された散策路へと続く。長い間民間人の出入りが禁止されてきたおかげで、そのままの自然生態系がよく保存されている。鬱蒼と茂る森から感じられる神秘的なパワーで穏やかに静かな登山を楽しめる。

移動ルート ハヌルハンマダン→チョンヌン(貞陵)→多慕亭→ハヌル橋→ハヌル展望台→ホギョン岩→ナムマル→ギエゴク(渓谷)マル→ソマル→城北川発源地→ソンプク(城北)展望台→北岳八角亭→プガクサン(北岳山)3番出入口→カフェサンモトゥンイ→プガクサン(北岳山)1番出入口→彰義門



### TRAIL 08.

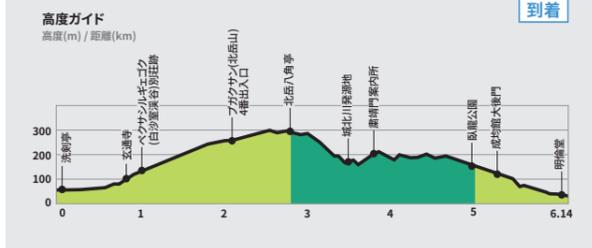
## 都市の秘密庭園 ペクサシルギェゴク(白沙 室溪谷) - 成均館コース

総移動距離 6.14km 総所要時間 2時間 難易度 中級



ペクサシルギェゴク(白沙室溪谷)は澄んだ水にだけ生息するというサンショウウオをはじめ、アブラハヤ、ザリガニなどの多様な生物が生息し、水質が良いことが分かる。至る所が開発制限区域に指定されているおかげで、自然がそのままの状態よく保存されており、「都心の秘密庭園」とも呼ばれる。小道の間に広がる四季折々の自然風景を鑑賞してみよう。

移動ルート 洗剣亭→玄通寺→ペクサシルギェゴク(白沙室溪谷)別荘跡→プガクサン(北岳山)4番出入口→北岳八角亭→城北川発源地→肅靖門案内所→臥龍公園→成均館大後門→明倫堂



#### ハイキング情報

ペクサシルギェゴク(白沙室溪谷)から林道の小道、北岳八角亭までは舗装道路の横にある散策路より登ることができ、傾斜がなだらかで散策するように歩ける。

#### 休憩情報

ペクサシルギェゴク(白沙室溪谷)別荘跡の石階段に座り、鬱蒼と茂る森の木陰で溪谷を流れる水の音と鳥の鳴き声に耳を傾けながら、登山のためのエネルギーを補充しよう。

#### アクセス

3号線キョンボクン駅3番出口を出て市内バス1020、1711、7016、7018、7022、7212番に乗り、祥明大入口・洗剣亭教会停留所で下車する。

### -ソウル登山観光-

# プガクサン(北岳山) コース





- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <p><b>TRAIL 01.</b><br/>彰義門 - ペガク(白岳)マルコース<br/>彰義門 → 青雲台休憩所 → 白岳亭 → 春秋館</p> <p><b>TRAIL 01.</b><br/>チョンワデ(青瓦台)-サムチョン(三清)公園コース<br/>春秋館・青雲台 → マルバウイ(馬岩)展望台 → サムチョン(三清)公園</p> | <p><b>TRAIL 01.</b><br/>チョンワデ(青瓦台)展望台 - 春秋館コース<br/>七宮 → チョンワデ(青瓦台)展望台 → 春秋館</p> <p><b>TRAIL 01.</b><br/>彰義門 - 恵化門コース<br/>彰義門 → ペガツマル → コクチャン(石垣) → ワリュウ(臥龍)公園 → 恵化門</p> | <p><b>TRAIL 05.</b><br/>彰義門 - マルバウイ(馬岩)コース<br/>彰義門 → 青雲台 → チョツテパウイ(燭台岩) → サムチョン(三清)公園入口</p> <p><b>TRAIL 06.</b><br/>如来寺 - ホギョナムコース<br/>如来寺 → ホギョナム → 肅靖門案内所 → サムチョンガク(三清閣)</p> | <p><b>TRAIL 01.</b><br/>プガクハヌルギル<br/>ハヌルハンマダン → 多慕亭 → 北岳八角亭 → カフェサンモトツイ → 彰義門</p> <p><b>TRAIL 01.</b><br/>ペクサシルギェゴク(白沙室溪谷)-成均館コース<br/>洗剣亭 → ペクサシルギェゴク(白沙室溪谷)別荘跡 → 城北川初発源地 → 臥龍公園 → 明倫堂</p> |
|--|---|--|--|

### TRAIL 01. チョンワデ(青瓦台)展望台に登る 彰義門 - ペガク(白岳)マルコース

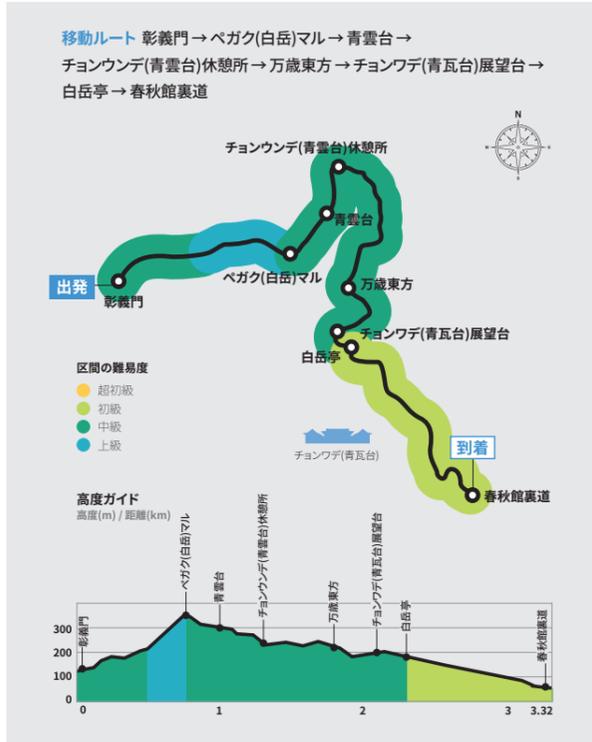
総移動距離 3.32km 総所要時間 1時間30分 難易度 中級

ソウル都心を一望できる絶景スポットがたくさんあり、プガクサン(北岳山)登山客に一番人気があるコース。彰義門からペガク(白岳)マルに続く傾斜がきびしい登り坂を通り、2022年に開放されたチョンワデ(青瓦台)新規登山路を通って下山する。ソウルの漢陽都城道を歩いていると目に入ってくる、木の葉の緑とのコントラストが素晴らしい都心の風景がこのコースが跨る魅力ポイント。

**ハイキング情報**  
彰義門からペガク(白岳)マルに続く登り坂の区間には傾斜が険しい階段がある。道沿いに設置された手すりにつかまって安全に登っていく。

**休憩情報**  
彰義門からペガク(白岳)マルに続く城郭区間にはトルゴレ休憩所とペガク(白岳)休憩所がある。登り坂の途中には水を購入できる場所がないため、飲み水を準備しておくこと。

**アクセス**  
3号線キョンボックン駅3番出口を出て市内バス1020番に乗り、チャハムコグ(紫霞門峠)・コンドンジュ(尹東柱)文学館停留所で下車した後、階段を上ると彰義門案内所に到着する。



### TRAIL 02. 澄んだ森を歩ける チョンワデ(青瓦台)-サムチョン(三清)公園コース

総移動距離 5km 総所要時間 1時間50分 難易度 中級

チョンワデ(青瓦台)春秋館から出発し、水と森がきれいで訪れる人の心まで浄化されるという意味のサムチョン(三清)公園の方面に下がっていくコース。安上の理由により閉鎖されていたチョンワデ(青瓦台)新規登山路に沿って登っていくと、ソウルの全景を一望できるだけでなく、サムチョン(三清)公園へと続く穏やかな風景が心を落ち着かせる。

**ハイキング情報**  
コースの途中には傾斜がきつい区間が続くこともあるため、トレッキングポールを準備した方がいい。白岳亭から万歳東方までの区間は、一番辛い区間であり険しい登り坂と階段が続く。

**休憩情報**  
青雲台から見下ろすソウル都心の風景を鑑賞しながら上がった息を整えよう。

**アクセス**  
地下鉄3号線キョンボックン駅で下車し、市内バス1711番に乗りしヒョジャ洞停留所で降車する。ヒョジャ洞停留所からチョンワデ(青瓦台)前の通りを横切り910m程度歩くと、チョンワデ(青瓦台)春秋館に到着する。



### TRAIL 03. プガクサン(北岳山)で最高の展望が広がる チョンワデ(青瓦台)展望台 - 春秋館 コース

総移動距離 2.18km 総所要時間 50分 難易度 中級

比較的登山時間が少なく移動距離が短いため、散歩をするように登ることができるコース。大通門の右側にある一方通行路に沿って歩くと、このコースで一番高い場所にあるチョンワデ(青瓦台)展望台に到着する。木製デッキの上にある展望台に立てば、チョンワデ(青瓦台)、景福宮、光化門、市庁まで一幅の絵画のようなソウル都心の風景が一望できる。

**ハイキング情報**  
七宮裏道から白岳亭までは険しい石階段が続く。トレッキングポールを持参していけば大分楽に登れる。

**休憩情報**  
白岳亭に座れば、チョンワデ(青瓦台)の塙の上に南山が見え、その向こうに見えるチョンギェサン(清溪山)の右側にはクァナクサン(冠岳山)を觀賞することができる。

**アクセス**  
3号線キョンボックン駅3番出口を出て市内バス1711番に乗りヒョジャ洞停留所で降車した後、シンギョ洞交差点を通り過ぎシファ門の方向に300mほど歩く。シファ門と無窮花園の間にあるチャンイムン口に沿って直進すると七宮がある。七宮の裏道がプガクサン(北岳山)登山路へと続く。



### TRAIL 04. ソウルの漢陽都城に沿って歩く 彰義門 - 恵化門 コース

総移動距離 5km 総所要時間 2時間10分 難易度 中級

ソウル漢陽都城に沿って歩くコース。城郭は朝鮮時代に北から侵入してくる外敵を阻止するために築いたもので、高さが5-10mに達する。ソウル漢陽都城道は計18.6kmで、ナクサン(駱山)から南山、イヌアンサン(仁王山)を経てプガクサン(北岳山)に続く。このコースは彰義門から恵化門まで歩くコースで、プガクサン(北岳山)の多彩な風景が目前に広がる。

**ハイキング情報**  
彰義門からペガク(白岳)マルまでは傾斜のきつい石道が続くため、登山ストックなどの安全道具を準備し、道に沿って設置された手すりにつかまって登ろう。

**休憩情報**  
臥龍公園から恵化門までの区間は1.6kmで30分程度かかる。あらかじめマルバウイ(馬岩)展望台で休憩をとり体力を温存するとい。

**アクセス**  
3号線キョンボックン駅3番出口を出て市内バス1711、7212番に乗りし、チャハムコグ(紫霞門峠)・コンドンジュ(尹東柱)文学館停留所で下車した後、階段を上っていくと彰義門案内所に到着する。

